

証券コード (7485)

岡谷鋼機株式会社

2024年8月10日

大和インベスター・リレーションズ株式会社
個人投資家向けオンライン会社説明会

1. 岡谷鋼機について
2. 成長戦略
3. 株式情報
4. CSR活動

1. 岡谷鋼機について

2. 成長戦略

3. 株式情報

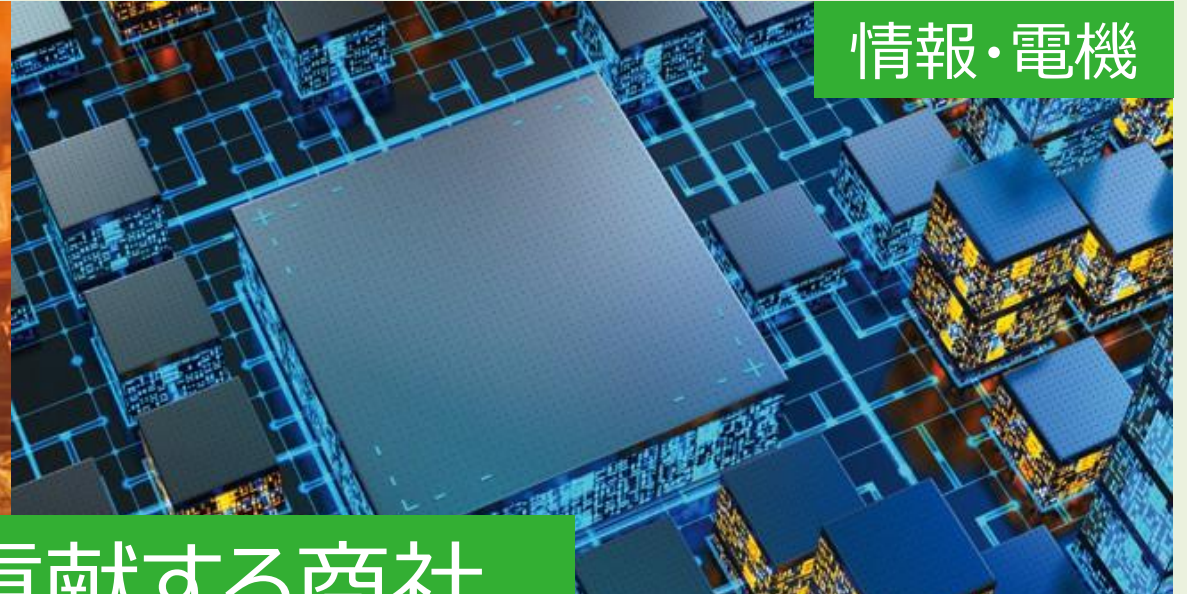
4. CSR活動

1. 岡谷鋼機について（岡谷鋼機とは）

鉄鋼



情報・電機



ものづくりに貢献する商社

生活産業

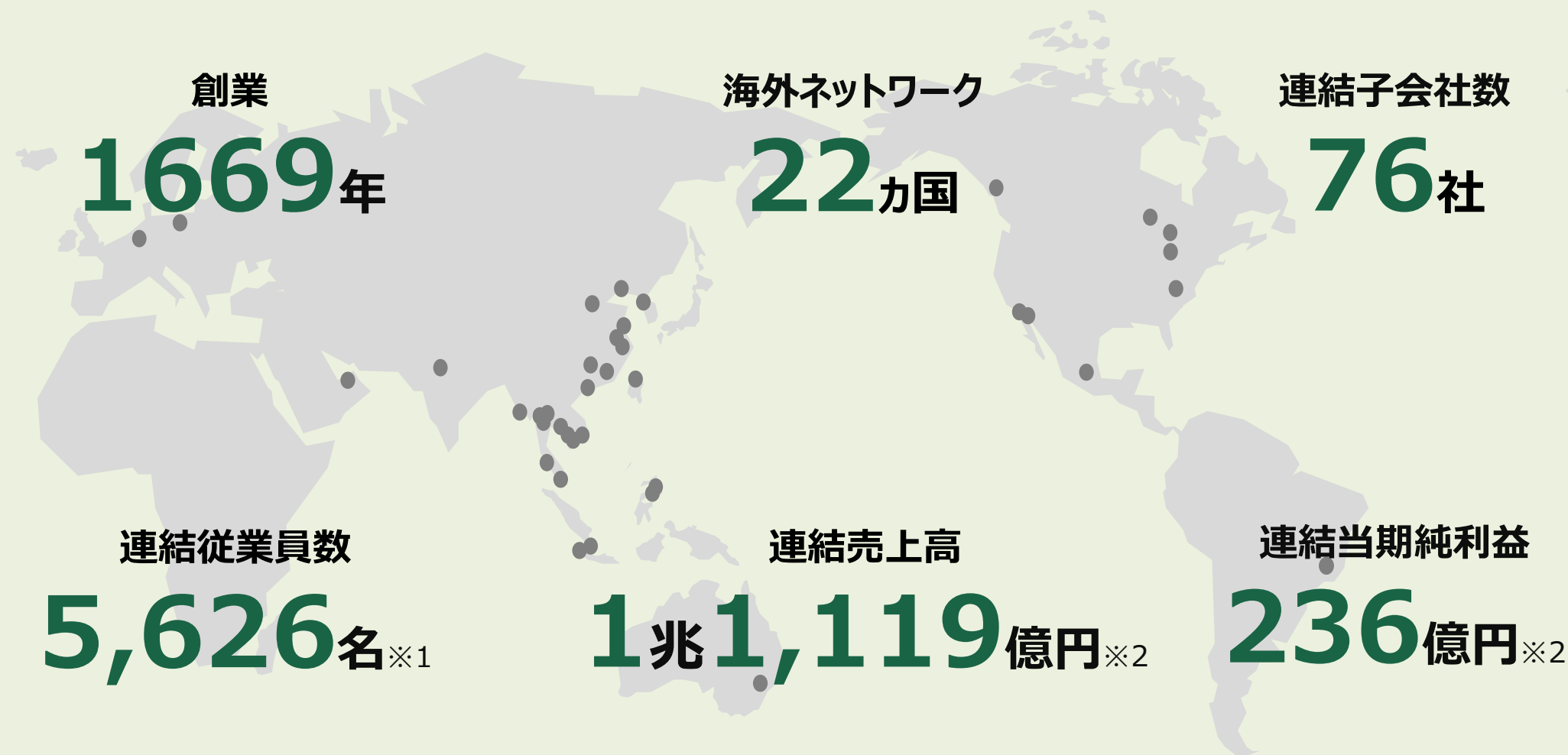


産業資材



社名	岡谷鋼機株式会社
所在地	愛知県名古屋市中区栄二丁目4番18号
代表者	取締役社長 岡谷 健広
資本金	91億28百万円
連結売上高	1兆1,119億円（2024年2月期）
格付	A（R&I、JCR）

1. 岡谷鋼機について（数字で見る）



※1 2024年2月29日時点
※2 2024年2月期

- **製造業に強い商社**

ものづくりの現場に必要な素材、設備、部品等をグループ総合力で提案・供給

- **顧客に密着**

国内外において顧客の近くに拠点を構え、密着した営業活動を行い、顧客のものづくりにあらゆる面に対応

- **多様な専門性**

鉄鋼、エレクトロニクス、メカトロ等において、専門性を有する大規模な営業本部を備えた強力な事業体制

【企業理念】

ものづくりに貢献するグローバル最適調達パートナー

Mission（使命）	ものづくりに貢献する
Vision（あるべき姿）	グローバル最適調達パートナー
Values（価値観）	誠実・信用、三現主義（現地・現物・現人）、人の和

時代の変化、顧客からの要求の変化に応じて、新たな市場、商品に挑戦してきました

1669年 金物商として創業 **鉄 鋼**

1862年 福店開設（大阪店）

1872年 益店開設（東京本店）

1912年 機械部設置 **産業資材**

1937年 株式会社岡谷商店設立

1946年 電機課設置 **情報・電機**

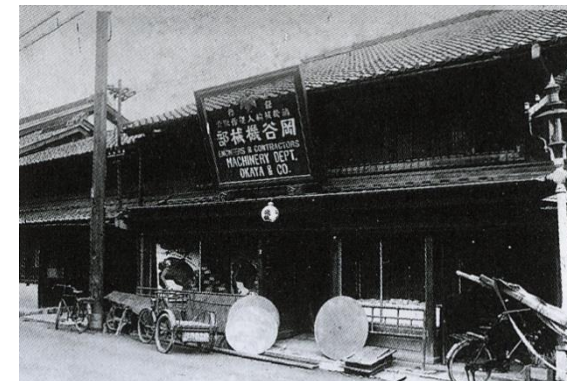
1954年 海外展開の始まり

1975年 農水産部設置 **生活産業**

2024年 創業355周年



益店（ますだな）



明治末期頃

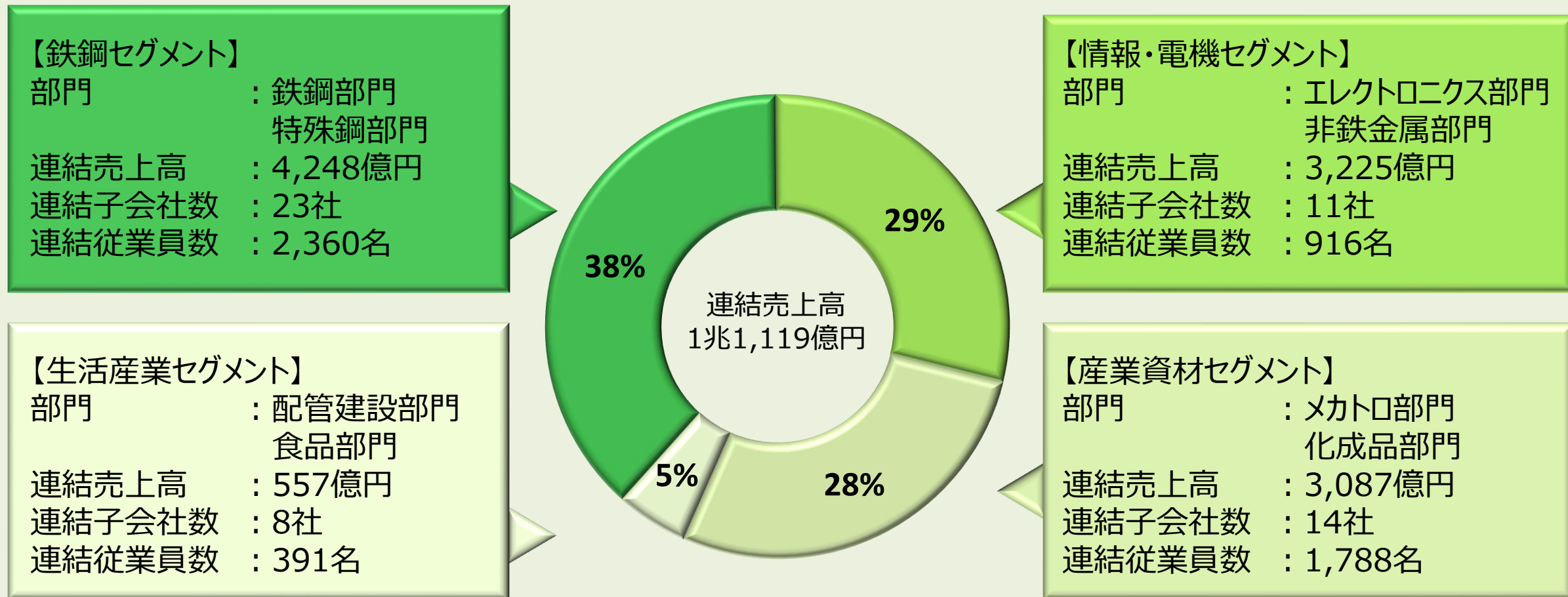


昭和初期頃



現在の本社ビル

1. 岡谷鋼機について（事業セグメント概要）



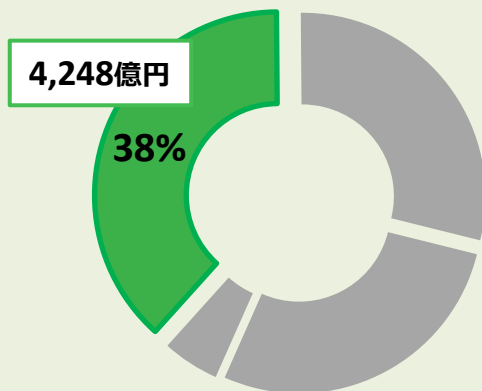
2024年2月末時点（生活産業セグメントの連結子会社数のみ2024年8月1日時点）

連結子会社数：現地法人等、セグメントに属さない20社を除く

連結従業員数：セグメントに属さない全社人員(間接部門等)171名を除く

鉄鋼製品の販売に加え、国内外に加工拠点を有し、お客様のニーズに応じています

【セグメント連結売上高】



【取扱い製品】



鋼板（自動車、家電等）



H型鋼（ビル・橋梁の構造等）

【主なビジネス】

- 大手鉄鋼メーカーの一次商社として鉄鋼製品を販売
- プレス加工や特殊鋼の切断・加工のほか、自動車・二輪車や家電向けの部品なども製造
- 公共工事やビル建設における鉄骨事業
- 金属リサイクル事業



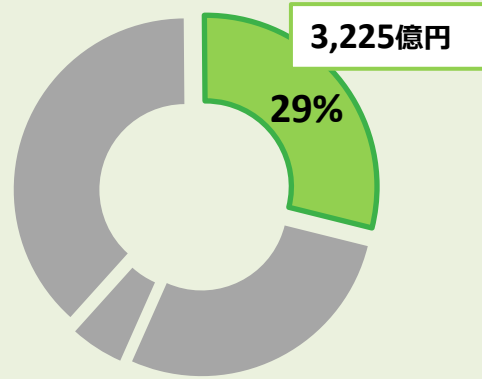
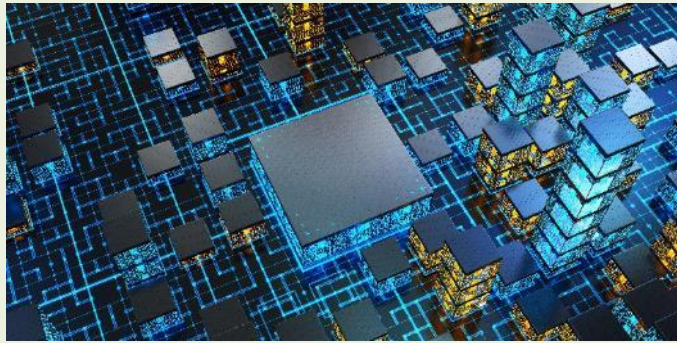
鋼管（ガス・水道用配管等）



特殊鋼（金型・工具等）

銅・アルミに加え、最先端の技術・商品を国内外のお客様に提供しています

【セグメント連結売上高】



【取扱い製品】



半導体（家電、車載、PC等）



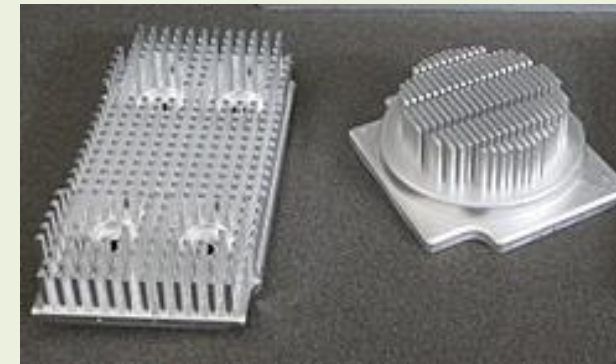
FA機器（工作機械、産業機械等）

【主なビジネス】

- 半導体、電子部品、ソフトウェアの販売、技術サポート
- FA機器、制御システム等の販売、設計、技術サポート
- デジタル技術（AI等）を活用した現場・社会課題の解決
- 銅、アルミを中心に様々な非鉄金属をグローバルで販売



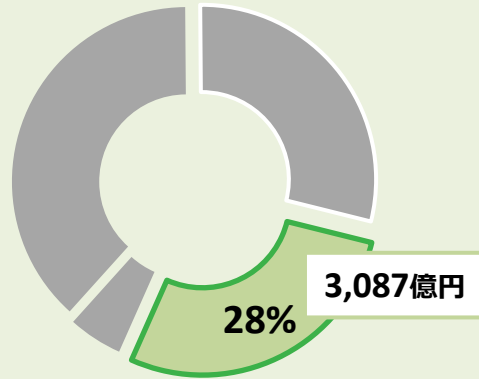
銅（モーター、電線等）



アルミ（冷却部品、車載等）

工作機械・工具、自動車部品、合成樹脂原料等をグローバルでお客様に提供しています

【セグメント連結売上高】



【取扱い製品】



ロボット（製造現場の自動化）



切削工具（金属加工）

【主なビジネス】

- 自動車・機械・航空機部品、工作機械・工具等の販売
- 工場内物流の自動化・省人化をトータルで提案
- 国内外大手メーカーの様々な樹脂製品の販売
- 車載用樹脂成形品の製造



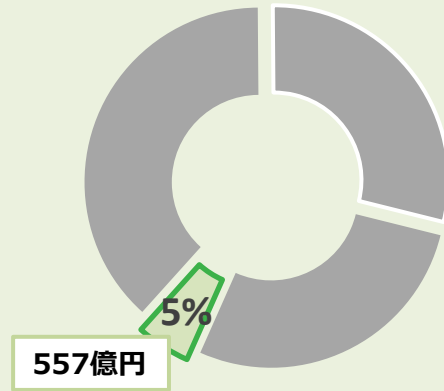
汎用樹脂（原料等）



樹脂成形品（車載部品等）

住宅設備機器等のインフラ材料、水産物・畜産物等の消費財を取り扱っています

【セグメント連結売上高】



【取扱い製品】



配管事業（配管資材等）



建設事業（不動産開発等）

【主なビジネス】

- 社会インフラ用 配管資材等の製造・販売
- 不動産開発、マンション・工場・倉庫等の建設
- 国内外の水産品、畜産品の販売
- 海外の協力工場で製造した鶏肉加工品の輸入販売



水産物（エビ、タコ等）

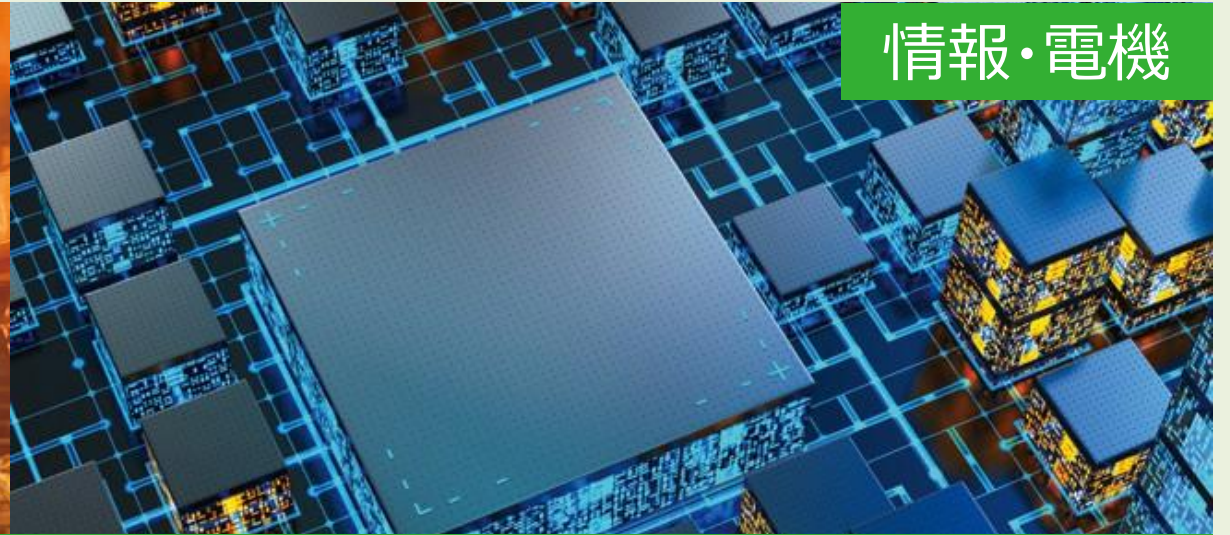


畜産物（鶏肉加工品等）

鉄鋼



情報・電機



ものづくりに貢献するグローバル最適調達パートナー

生活産業



産業資材



海外22カ国に拠点を置き、お客様に密着した営業活動を展開しています

【岡谷鋼機】

● 駐在員事務所 2カ所

【海外グループ会社 37社】

● 商社現地法人 19社

● 販売会社 8社

● 製造会社 10社

【エリア別拠点網】

北米 8社 南米1社 欧州2社

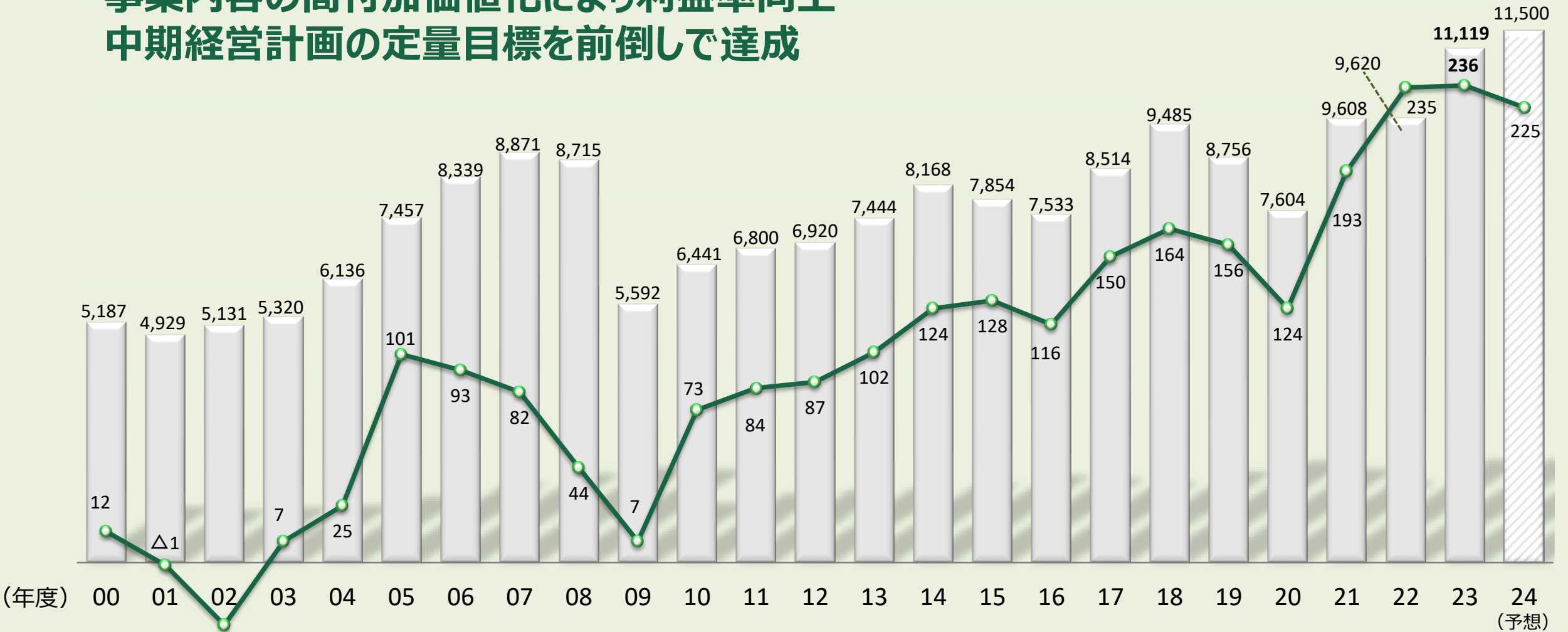
中国 8社 アジア・オセアニア 18社



1. 岡谷鋼機について（連結売上高・純利益推移）

事業内容の高付加価値化により利益率向上 中期経営計画の定量目標を前倒して達成

（単位：億円）



*2022年度（2023年2月期）より「収益認識基準に関する会計基準」（企業会計基準第29号 令和2年3月31日）を適用しております

■ 連結売上高 ● 純利益

1. 岡谷鋼機について

2. 成長戦略

3. 株式情報

4. CSR活動

Global Innovation Challenge 2025 (GIC2025)

Challenge & Change「挑戦し、変わる」

GLOBAL

- 世界市場におけるサプライチェーンの充実・強化
- 北米・中国・ASEANでの域内連携の強化
- グループ総合力を発揮した企業価値の向上

INNOVATION

- CASE、スマートファクトリー、カーボンニュートラル
- システムインテグレーションなど付加機能の強化
- 業務効率・生産性向上による経営基盤の強化

CHALLENGE

- 知識と経験の伝承（人材育成）
- 多様な人材が活躍できる環境整備
- 夢に向かって挑戦する企業風土の醸成

重要課題

- 地球環境の保全への貢献
- グローバルでの地域共生
- 技術革新を通じた、
新たな価値の創造
- 次代を切り拓く人材の育成
- 健全な企業文化の継承

2025年度業績目標

連結売上高 **1兆円以上**

当期純利益 **200億円以上**

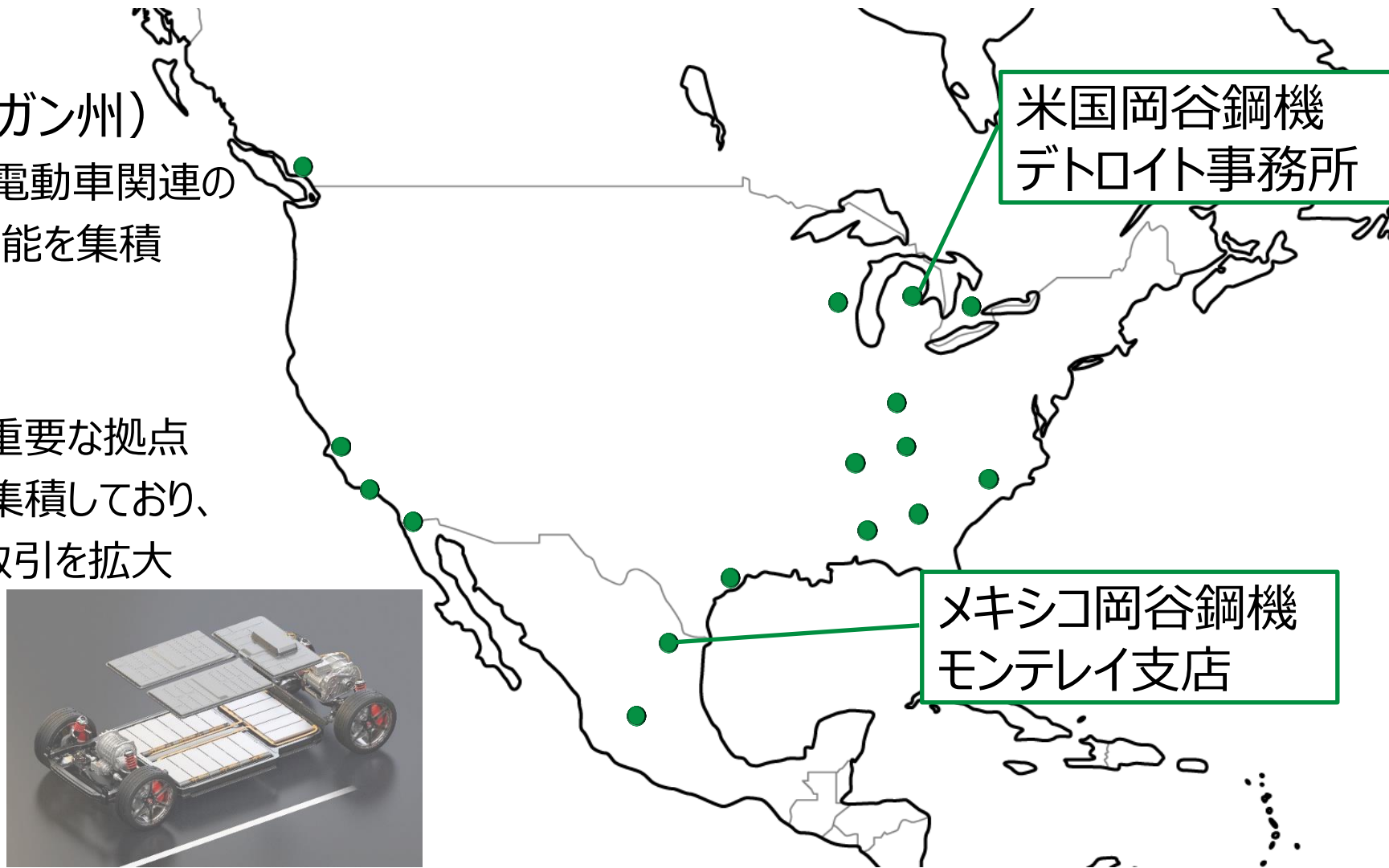
米国・メキシコ・カナダにおいて自動車関連ビジネスの拡大に取り組んでいます

●デトロイト（米国ミシガン州）

日米欧の自動車メーカーが電動車関連の「開発・生産技術・調達」機能を集積

●モンテレイ（メキシコ）

米国との陸上輸送における重要な拠点
日米欧各社の生産拠点が集積しており、
自動車産業向けを中心に取引を拡大



自動車用バッテリーの例

脱炭素社会に向けて、自動車の電動化の進展により、高品質の電磁鋼板は更なる需要増加が見込まれます
自動車産業の集積地である東海地区でサプライチェーンを強化し、電磁鋼板事業の拡大を目指しています

電磁鋼板とは

- ・電動車等のモーターに使用
- ・電磁特性に優れた高品質素材



日鉄電磁岡谷加工株式会社
(完成予想図)

2. 成長戦略（非鉄金属の加工・販売強化）

国内外において、自動車の電動化・通信機器向け等に取り組んでいます
これらの取り組みにより、今後成長が期待される非鉄金属事業の一層の拡大を目指しています

光洋マテリカ株式会社

国内：本社、6支店、1工場、1倉庫

海外：上海、台湾、香港、ベトナム、タイ、インドネシア(2カ所)

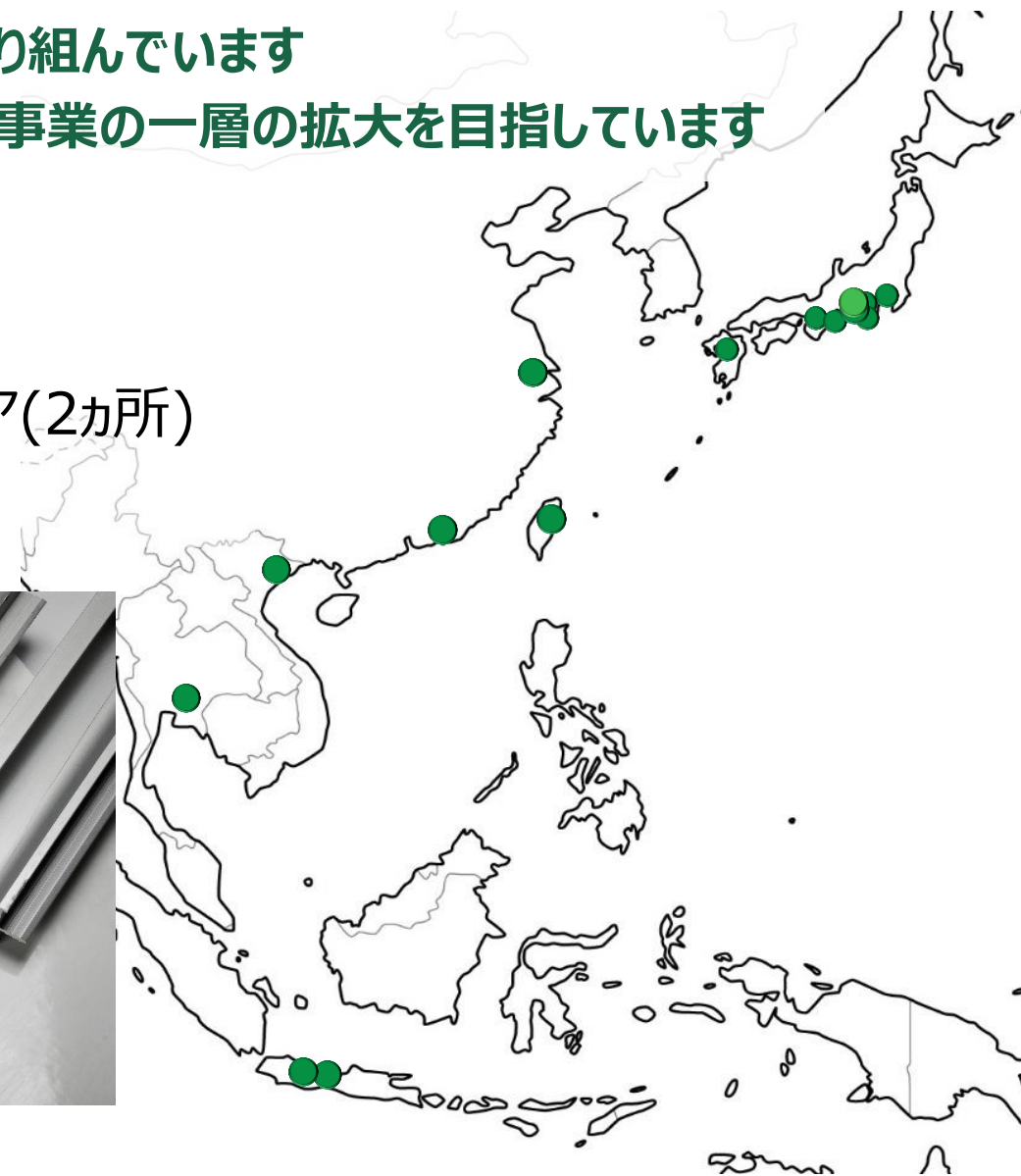
業種：非鉄金属の加工・販売



主要取扱製品の銅コイル



アルミ加工品



25年の実績を有するロボット・システムインテグレーター事業を譲り受け、新エフエイコムを設立しました
当社が従来から手掛けてきたハードウェアと、ソフトウェアを融合することで事業の拡大を図ります

工場内での無人搬送システム

トラックからの荷下ろし及び開梱、保管場所への収納に加え、
生産ラインへの搬送まで、全て無人でのオペレーションが可能



2. 成長戦略（株式会社プロテリアルの一部事業の譲受）

高い信用力を持つ「ひょうたん印」を始めとするブランドを維持しながら、市場のニーズに対応した製品の開発を進め、社会インフラの整備に貢献します

社名：桑名金属工業株式会社

事業内容

継手バルブ事業：各種配管資材の開発・製造・販売

※100年以上の歴史を有する「ひょうたん印」ブランド

ファインフロー事業：半導体装置用機器等の開発・製造・販売

※半導体市場の発展により、成長が期待される事業

グループ会社：国内1社・海外2社(中国・米国)

連結従業員数：997名

事業開始日：2024年8月1日



ひょうたん印の継手



ひょうたん印のバルブ



高性能精密流体制御機器

IoTやデジタル技術を活用し、労働人口不足や混雑緩和など、社会課題の解決に取り組んでいます

【建設業DX：レーザー光での「墨出し」作業】

- ・建設現場での課題を解決
- ・従来2人で行っていた作業を1人で実施
- ・CADデータの活用により生産性・安定性も向上



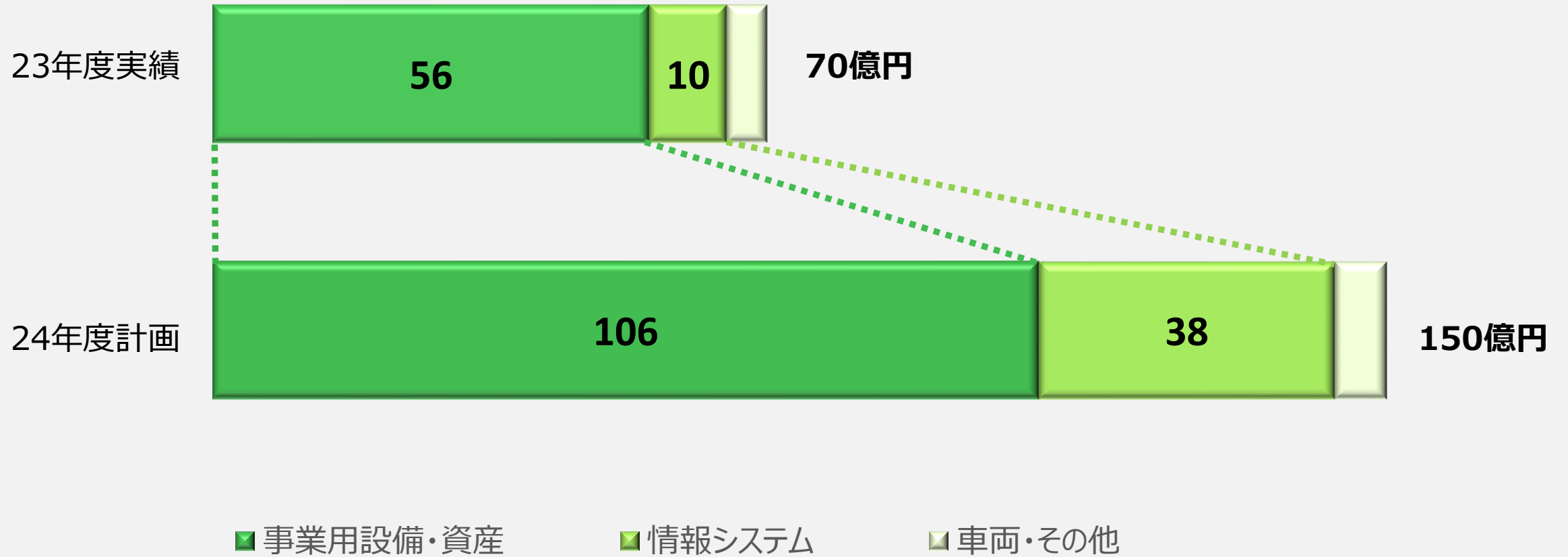
【人流・交通観測】

LiDARなどのセンサーとAI認識を組み合わせ、人の流れ、混雑の状況を観測



2. 成長戦略（設備投資）

事業領域の拡大、商社機能の充実、生産性向上のため、積極的に設備投資を進めます



1. 岡谷鋼機について
2. 成長戦略
- 3. 株式情報**
4. CSR活動

1. 分割の方法

2024年8月31日（土）の最終の株主名簿に記載された株主様の所有普通株式1株につき2株の割合をもって分割します。

2. 日程

基準日公告日 : 2024年8月15日（木）

基準日 : 2024年8月31日（土）

効力発生日 : 2024年9月 1日（日）

3. その他

(1) 株式分割に際し、資本金の額の変更はありません

(2) 株主優待について、実質的な基準に変更はありません

3. 株式情報（基本情報）

証券コード 7485（名証プレミア）

決算期 2月末

株価 15,000円 *

1株当たり配当金（2025年2月期予想）

第2四半期末 135円

期末 135円

通期 270円

※配当金は株式分割を反映しない金額としています。

配当性向（2025年2月期予想） 11.5%

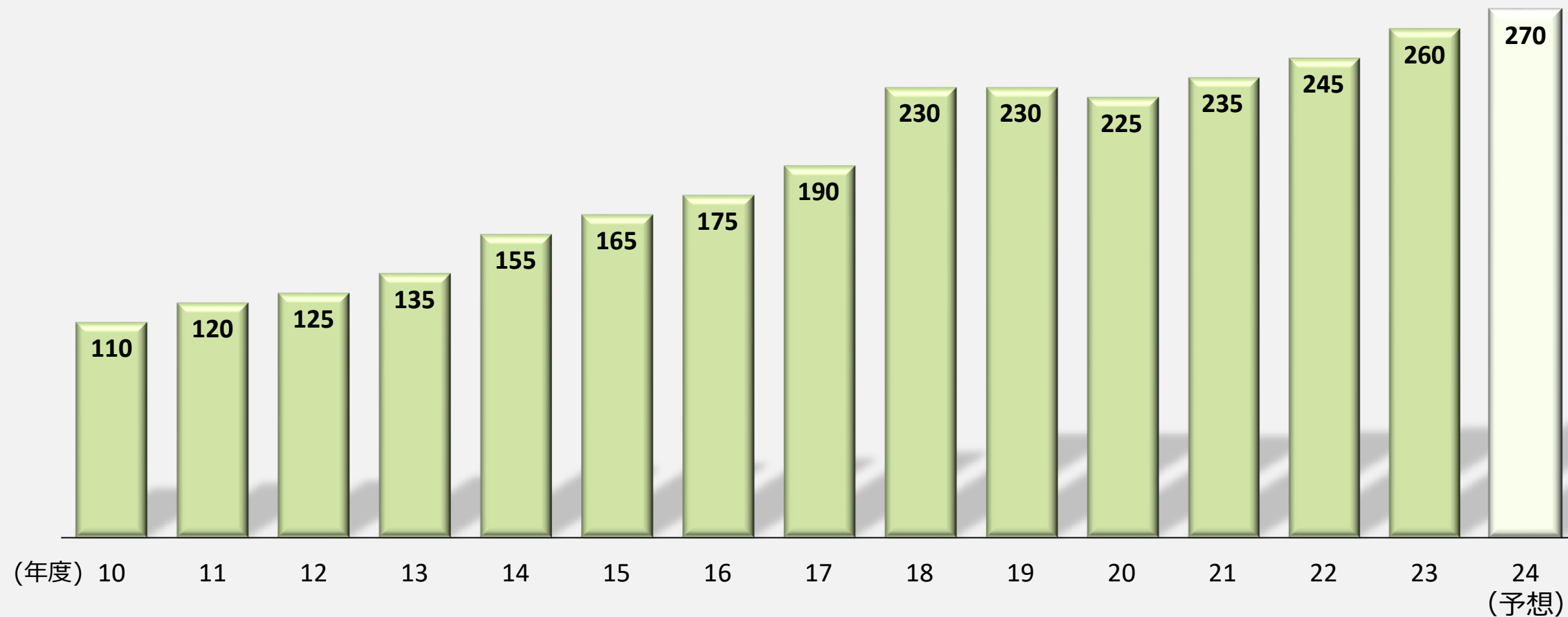
PER 6.41倍 *

PBR 0.37倍 *

* 株価に関する指標は2024年8月7日時点

3. 株式情報 (株主還元)

(単位：円)



18年度 (19年2月期) は創業350周年記念配当20円を含みます
24年度 (25年2月期) の配当予想額は株式分割を反映しない額です

- ・地産地消の観点から、愛知県のお米をお送りしています
- ・長期に渡って保有いただけるよう長期保有の株主様には図書カードをお届けしています

□ 一般株主様向け優待

優待内容	期日	所有株式数
愛知県産米 山の幻ミネアサヒ 5kg	2月末	100株以上
	8月末	200株以上



□ 長期保有株主様向け優待（※）

優待内容	期日	所有株式数
図書カード2,000円相当	2月末	100株以上
	8月末	

※一般株主様向け優待に加え、半期毎(2月末及び8月末)に発行される最終株主名簿に、同一株主番号で連続6回以上記載されていることを条件として贈呈いたします。

2024年9月1日に株式2分割を実施いたします。分割後の基準となる所有株式数は、上記の2倍となります。

1. 岡谷鋼機について
2. 成長戦略
3. 株式情報
- 4. CSR活動**

名古屋市公会堂の愛称「岡谷鋼機名古屋公会堂」の使用が開始されました



当社がネーミングライツ・パートナーとなり、2024年4月1日より愛称の使用が開始されました。

名古屋市との相互協力により、国の登録有形文化財でもある名古屋市公会堂の保護ならびに地域の芸術文化の振興、福祉の向上に貢献してまいります。



4. CSR活動（国内）

<公益財団法人 真照会>



旧学舎



現在の学舎

学生に学資や宿舎等を提供する奨学団体です。
1917年(大正6年)創設、2017年に100周年を迎えました。

<中川倉庫建替(名古屋市)>



昭和初期竣工当時



建て替え後



現在の航空写真

昭和初期竣工当時の外観を再現した形で建て替えました。

<オカヤ チャリティー コンサート>



2013年から毎年名古屋で開催しています。
地域の社会福祉向上のため、チケット売上金全額
に加え、マッチングギフトとして売上金の
同額も愛知県共同募金会に寄付しています。

<OKAYA CUP>



小学生サッカー大会および特別授業を支援しています。
少年少女の心身の健やかな成長と地域の活性化に
貢献します。

<サクラ ルアムナムジャイ財団（タイ）>



タイで事業を展開するグループ会社5社で設立した財団で、教育や災害復旧への支援を行っています。

<日本語スピーチコンテスト（中国）>



2023年より全中国選抜日本語スピーチコンテストへの協賛を開始しました。

<日本語講座（インド）>



インド岡谷鋼機が現地の学生に日本語を教える講座を支援しています。

岡谷鋼機株式会社

« I Rに関するお問合せ先»

岡谷鋼機株式会社 企画本部企画部

e-mail : kikaku@okaya.co.jp

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する予測は、現時点において一般に認識されている経済・社会等の情勢および、当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、実際の業績等は様々な要因により変更される可能性があります。当社は新しい情報、将来の出来事に基づきこれらの将来予測を更新する義務を負うものではありません。